

小・中学生フォーラム in 戸塚第三小学校



7月15日に、戸塚第三小学校(高田馬場3-18-21、校長:水野久美恵)で、同校の5年生27名と中山区長が「ゴミにかかわる環境美化・神田川ファンクラブについて」をテーマに意見を交わした。

子どもたちの提案は3部構成になっており、第1部では「ゴミステッカーの敗北」と題した劇により、「エコバックを自分達で作る機会を増やしたい」「まちにゴミ箱を増やしてほしい」「5R についてのポスターを作ってまちにはる」といった提案がされた。中山区長は「ゴミは持ち帰ってもらうことが最善と考えます」「新宿区では3R 推進協議会を作っているけど、5R はさらに進んでいて素晴らしい」と意見交換をした後に、「わかりやすく素晴らしい劇だった。学校だけでなく、まちにもデビューしてほしい」と絶賛した。

第2部では、神田川ファンクラブの活動体験から「川において水遊びができる場所がほしい」「神田川についての説明や問題の看板を作ってほしい」と提案がされた。中山区長は「戸塚特別出張所・地域センターの整備をしています。そこに、川において遊べる場所や、神田川に住む魚の水槽や展示室を作ること計画しています。楽しみにしてください。」と意見交換を結んだ。

第3部では、日常生活で感じたことから楽しい優しい住みよい新宿にするために、自転車専用道路、お年寄りとの交流場所、公園の緑化について幅広い提案を受けた。中山区長は新宿区の取組みを個々に説明し、子どもたちと意見交換を行い「みなさんの提案をしっかり受け止め、できることから努力していきたい。」と話した。

「少し緊張しましたが大変勉強になりました」と司会の子どもから閉会のあいさつがあると、中山区長は「私が5年生の頃よりもしっかりしている、未来のまちの担い手として頼もしく思いました」と応え、傍聴に訪れた保護者や学校評議員が大きな拍手を送っていた。

